

セッション8：地域研修・校内研修ワークショップ ワークシート

地域研修・校内研修案を考えましょう

3月18日(木) 千葉会場 I グループ		
樋口(川崎市) 本間(日光市) 伏島(太田市) 石川(鹿沼市) 永嶋(芳賀) ◎高島(大和市)		
校内研修の概要		
1	目的	今後重要となる初期段階での情報モラル教育の充実を図るため、小学校教員及び保護者向けに、情報モラル教育の実施ができるようにする。
2	研修対象者	小学校教員(学校の全教員)・6年生保護者
3	研修種別	希望研修
4	回数・実施時期 (年間計画)	1回(5月) 校内研修全体 講師:指導主事 2回(10月) 情報モラル研究授業公開①【道徳】 <small>思いやり</small> ・授業研究会 助言:指導主事 3回(2月) 情報モラル研究授業公開②【学級活動】 ・授業参観後、保護者向けの研修会 (中学校教諭1名も呼んで事例を話す)
5	研修時間	1回目(90分) 2回目(授業と研究会 105分) 3回目(授業と保護者会 90分)
6	具体的内容	1回目 情報モラルの基礎理解、体系的系統的な指導計画 2回目 研究授業①と授業研究会 <事前検討会> 3回目 研究授業②と保護者向けの研修会 <事前検討会> ※①②の授業は、ネットトラブル関連(ケータイ中心)
7	教材	・情報モラル指導者研修ハンドブック ・ちょっと待って、ケータイ DVD 教材 ・栃木県総合教育センター、情報モラル指導資料(PP) 他 ・そのとき、キミならどうする? CECリーフレット
8	研修形態	1回目 講義と演習 2回目、3回目 指導案検討会と授業研究会

		分	研修内容・活動	資料等
9	1回の展開案 (具体的に記載)		<p>3回目の情報モラル研究授業公開②【学級活動】について</p> <p>事前検討会・授業作り</p> <p>① 【道徳の実践化から分析した実態把握】 前回の道徳「思いやり」で授業実践、その後、ケータイのクラスの実態をとらえておき、学級活動へつなげる。</p> <p>② 【活動テーマの問題意識化】 「ケータイやパソコンなどネットワークツールを使う時、どうやってつきあっていたらよいらろうか？みんなで考えてみよう」</p> <p>③ 授業展開の具体化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちょっと待って、ケータイより メール依存」の視聴し、感想と問題解決のアイデアを出し合う。 ・ 個で考える、班で考える。(ワークシート・話し合い) <p>【予想される班の話し合い】</p> <p>C どんなルールが必要かなあ。</p> <p>C やっぱし、早く返してあげるのがやさしいんじゃない。</p> <p>C うん、すぐに返事は欲しいよね。</p> <p>C それで、いいのかな。</p> <p>C 持ってないから、関係なし。</p> <p>C でも、食事や寝る時間は大切だから・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ソッコレスはよくない」など望ましい使用ルールづくりを出させる。 ・今後の使い方をまとめる。 <p>事前検討会・保護者向けの研修会</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業を見ての感想の共有・問題を認識 ② 資料で子供の気持ちを考える ③ 中学校の先生より ④ 担任から <p>※家庭での話し合いまで促す。家でも子どもとともに考えてみてください。</p>	<p>ハンドブック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ちょっと待って、ケータイ DVD 教材 ・ そのとき、キミならどうする？ C E C リーフレット